

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年6月20日(土) 午後2時～3時30分
場 所 清見自治会館 (清見自治会)
天 気 くもり
参加者 34人



主な意見等

参加者 防災の話ですが、様々な場所で災害の前兆が起きています。いつ災害が起こるかわかりません。旧二市二町の時の話ですが、旧上福岡で葦原中学校を使った防災訓練がありました。その時に、ちょうど雨が降りまして避難場所の葦原中学校を後で見学しようと思ったから雨で水びたしでした。訓練後に、市政報告会があり、あんなところにととてもじゃないけど入れないという声が圧倒的に多かったです。むしろ地震でもきたら、あそこは昔大湿地帯で液状化になります。液状化した場合、災害の内容によるが、避難場所としてはいやだなと思います。どこか他の場所を考えてくれないかという話もあったんですが、予算的な問題でその後ほとんど考えられていないのかなと思います。葦原中学校には、怖くていけません。今も変わらないと思います。建物そのものはおそらく耐震化していると思いますが、地下はそう変わらないと思います。災害の程度にもよりますが、葦原中学校は危険だと思います。

市 長 避難場所については、基本的な決まりごとがあります。大前提として、災害の程度によって状況がどんどん変わってきます。最悪の場合、元福小学校のエリアはもっと液状化がひどくなります。おっしゃるとおり、葦原中もその可能性があります。そこまでいく前の段階であれば全然問題ないですし、もし、あそこが液状化した場合

は、そこに避難していただくことはありません。他の公共施設や大型店を開放してもらえらるような協定も結んであります。清見の方が一斉に全員避難する必要はありません。災害の状況により、葦原中学校がだめなら上野台小学校を確保するなど、あらゆる想定を基に臨機応変に対応を図っていきたいと思います。

参加者 星和幼稚園の前を掘りかえしていますが、なんのためですか。

市長 元福岡地区では、大雨の時に川越江川に水がはけきれなくて浸水してしまいます。元福岡で3か所工事を行っているのですが、排水管に逆流防止弁を設置するのと、そこに圧力をかけて江川の方に送り返すという工事を行っています。長年の懸案事項である元福岡の水害を少しでもなくしていこうと実施しています。

参加者 先日、防災資機材の助成金説明会に行きました。その時に、いざ火災の時に消火栓を使って市民が消火する道具があることを初めて知り、感心しました。清見自治会も欲しいです。あれを使うのには、実地訓練を何回もしないとできないと思います。せつかく市の方で用意してくれるのだから、なにかあった時にすぐ市民が使えるように、極端な話、中高生に教えてもいいと思います。いいものをみんなが使えるように説明・訓練するのが大事なことだと思います。

市長 たしかにいろいろな人に使えるようにしておくことは大事なことです。あれをいくつもの消火栓に設置すると圧力がなくなってしまう。ただ誰しものがそういう機材を扱えるという機会を作っておくことは大事だと思います。まだまだ準備の段階でそこまでいたっていません。来年度、防災資機材を増やしていこうと考えています。ご提案いただいたことを参考にさせていただきます。

参加者 環境、いわゆる都市の美化についてですが、道路の周囲にごみがよく捨てられています。とにかくひどいので、なんとかできないでしょうか。個人的には、私は拾う人が増えれば、捨てる人が減ると思います。そのような運動はできないでしょうか。

市長 おっしゃるとおりだと思います。きれいにしておく、汚す方も汚しにくい。一番大事なことは、市民の皆さんのモラルです。市役所の職員の力だけではやりきれないので、地域の皆さんのご協力のもとで、クリーンキャンペーン、美化運動をしていくことが良いと思います。市でも啓発運動として駅前では早朝にクリーンキャンペーンを年2回ぐらいやっています。民間企業の社員や商店街の人もやっています。周知することが大事です。市としては自治会の皆さんと協力してどんな運動ができるのか、考えていきたいと思っています。

参加者 上水道のダウンサイジングの話がありましたが、清見は空地があるので、人が増えるかもしれません。人口が増えると水道の施設も一つでいいのでしょうか。施設の数や管の太さをどう考えていますか。

それと上下水道の料金の未回収の金額が多いと聞きますが、どうなっていますか。

市長 人口については、現在は増えており、増加率が県で3位です。若い人の人口が増えていますが、一方で高齢化率も上がっています。ダウンサイジングの話で不安を与えて申し訳ありませんが、人口や世帯数を考えて、予想以上に増えても施設の数は大丈夫です。水道管につきましても、ダウンサイジングしても圧力が変わらないように、研究を進めています。

未納についてですが、実は昨日も県税事務所長と話しました。公平性を考えれば、なんとか払っていただかなければいけません。未納対策には力を入れていきたいと思っています。

参加者 医者に行くと、市からどの病院にいくら払ったという通知書がたくさん来ます。来るのが遅くて覚えていないものもあります。年に何回と決めたらいいのではないのでしょうか。また、税金が年金から引かれる場合と金融機関から引かれる場合があります。年金だけで引くようにしたらいいのではないかと思います。

市長 法律上、いたしかたないこともありますが、もし市で改善できる

部分があれば、改善したいと思います。

参加者 改正道路法で自転車は原則車道の左側を通ることになりましたが、県道を通るのは怖いです。車道を走るときに、安全対策を考えてほしいと思います。また、安全対策上、歩道を走る場合は車道側を走りなさい、歩行者の迷惑にならないようにという啓発をしてほしいと思います。自転車で傘を差している人も多いです。

市長 改正されて、指導が厳しくなるという話です。ご要望として承り、周知していきたいと思います。

参加者 自治会の会計をしています。会館を上福岡地区では持っていますが、大井地区は持っていません。会館にかかる経費で、会費の6割がなくなります。4割で自治会の活動をしています。助成金を増やしてほしいと思います。自治会を活発にするとお金が足りなくなります。ハード面だけではなく、ソフト面にもお金が欲しいです。

市長 ふじみ野市として最大の課題です。大井地区では公民館の分館として作りました。分館ですから、維持管理は市役所が行っています。川越市と三芳町もそうです。不公平感がありますので、上福岡地区の助成金を上げました。何十年もやってきたのを変えるのは難しいことです。若い人の自治組織加入率が低いこともあり、最後は集会施設を市が管理しなくていけなくなるかもしれません。集会所はどうあるべきか、課題を整理しないとイケません。提案があったことは担当課に伝え、考えてまいります。

参加者 福岡中央公園に東屋をつくってほしいと思います。高齢者は木の下の石のところに座っています。屋根があって、椅子がある東屋がほしいです。

市長 場所によっては、路上生活者が集まる可能性があります。すぐできるかわかりませんが、提案としてお受けします。多くの課題や要望がありますので、順番にやっています。清見第1公園のトイレ

の手入れも行ってまいります。

参加者 中央公園の新幹線トイレは、今どのように使っているのですか。

市長 トイレとしての役目は終わりました。外観を残して倉庫として使用しています。

参加者 空き家の問題ですが、市では市内を見回っていますか。

市長 苦情があったとき、調査をしたりしています。

参加者 10年以上空き家になっていて、私が草刈りなどしているところがあります。

市長 ふじみ野市では、空き家対策の条例がありますが、強制力がありません。先日国が特別措置法を制定しました。空き家をそのままにするのは、大概の皆さんは更地にすると固定資産税が上がってしまうからなんです。一生懸命管理をしている方もいるけれども、放置したままの方もいます。国の法律が変わって、ほおっておくと固定資産税の軽減をなくして更地と同じような税額にすることも可能になります。管理できない場合には、シルバー人材センターがお手伝いすることもやっています。今まで以上に強く言えるようになりましたので、後で場所を教えてください。管理人にお願いしていきます。

参加者 空き家の横に草が生え、道路にまで達しています。市道については、どうにかしてほしいです。

市長 市の道については、市でやらせていただきます。